

NPO法人POSSEボランティア募集 教育・貧困・被災セミナーを開催します

NPO 法人 POSSE は、被災地復興支援の一環として、就学支援ボランティア募集説明会と教育・貧困・被災をテーマとしたセミナーを開催します。子どもの貧困や教育・福祉政策に関心のある方、POSSE の就学支援ボランティアに興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。

参加無料・予約不要

POSSE 就学支援ボランティア募集説明会

日時 5月20日(日) 10時～14時
5月26日(土) 13時～17時
6月2日(土) 10時～14時

説明会は個別に30分ほど行います。上記の時間帯で都合のよい時間にお越しください。上記の日程でご都合が合わない方には、別途、個別に説明会を設けますのでお気軽にご連絡ください。

場所 仙台市市民活動サポートセンター
7階事務スペース(仙台市青葉区一番町四丁目1-3)

NPO 法人 POSSE 仙台支部では、復興支援事業の一環として、被災した子どもに勉強を教える就学支援事業に取り組んでいます。支援している子どもの多くは、母子家庭であったり、生活保護水準以下で生活していたりと貧困状態にあります。生活環境が整わないため、十分勉強に集中できず、学校の授業進度についていけなかったり、不登校に陥ったりしている子どもたちもいます。こうした子どもたちに対しては、勉強を教えるだけでは十分な支援といえず、生活基盤や高校進学のための経済的基盤を整えるための福祉的・制度的なサポートも必要となります。狭い意味での教育だけではなく、福祉的・制度的方法を用いての就学支援に関心のある方は是非お気軽にご参加ください。



子どもの貧困：被災と福祉制度の不在が生み出したもの



東京大学大学院教授

講師 本田由紀 (ほんだ・ゆき)

日時 5月27日(日) 15時00分～

15:00～開会

15:05～15:20 POSSE 就学支援事業のご案内

15:20～16:20 講演

16:35～17:05 質疑応答

17:05～17:15 閉会のあいさつ

場所 木町通市民センター 第一会議室
(青葉区木町通1-7-36・地図は裏面を参照)

※同5月27日(日)13時～15時には、就学支援ボランティアの募集説明会を木町通り市民センター(第一会議室)にておこないます。是非こちらも併せてご参加ください。

震災は子どもの貧困をいっそう深刻化させています。家計支持者の死別、自宅の流出、震災後の両親の離婚等によって、子どもたちの生活・就学の条件は非常に厳しいものになっています。子どもたちは生活保護水準以下で生活していたり、生活環境が整わないため、十分勉強に集中できず、学校の授業進度についていけなかったり、不登校に陥ったりしています。

こうした子どもの貧困や、それによって引き起こされる低学力や低学歴、さらには成長後のさまざまな困難は被災地に限ったものではありません。貧困は日本社会の中で根深く存在してきた問題です。各種の調査によって、生活保護受給世帯で育った子供が成人後、再び生活保護を受けるなど貧困の連鎖が生じていることが指摘されています。しかし、「貧困の連鎖」に対する社会の認識や、連鎖を断ち切るための子ども・若者への支援は未だに不十分なままとなっています。このような状況で、ボランティアによる貧困世帯への子どもの支援の意義はますます高まっているといえます。

本セミナーでは、教育社会学を専門とする本田由紀さんをお招きし、戦後日本の社会構造の変化から、その中で格差や貧困の広がり福祉制度の欠如、震災による課題の頭在化まで子どもの貧困が深刻化している背景についてお話しいただき、困窮している家族や子どもに対する支援のあり方について考えます。

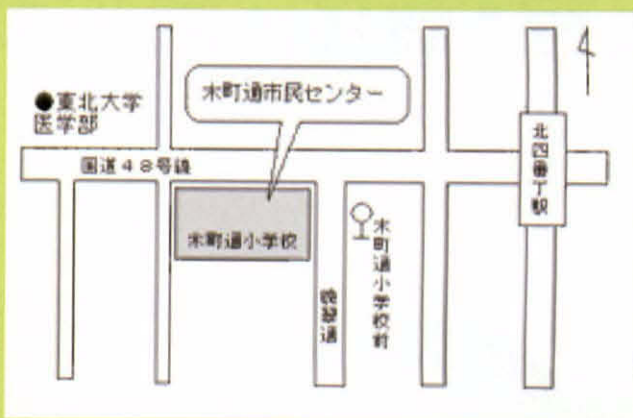
子どもの貧困：被災と福祉制度の不在が生み出したもの

プログラム

- 13:00 開場（ボランティア募集説明会）
- 15:00 開会のあいさつ、講師紹介
- 15:05 POSSE 就学支援のご案内
- 15:20 本田由紀さんご講演
- 16:35 質疑応答
- 17:05 閉会のあいさつ、ボランティア募集のご案内
- 17:20 閉会

講師略歴

本田由紀さん（東京大学大学院教授）：1964 年生まれ。東京大学大学院教育学研究科教授。専門は教育社会学。著書に『教育の職業的意義』（ちくま新書、2009）、『軋む社会』（双風社、2008）、『「ニート」って言うな！』（光文社、2006）、『多元化する「能力」と日本社会』（NTT 出版、2005）など。



木町通市民センター会場地図

教育・貧困・被災問題に取り組むボランティアを募集しています！

POSSEは若者の労働・貧困問題に取り組むNPOです。活動内容は、貧困・福祉分野、教育分野、労働分野と多岐にわたっています。就学支援に関わりたい、貧困・教育問題に関心があり勉強をしてみたいという方は、本セミナー・ボランティア説明会にご参加いただくか、下記連絡先までご連絡ください。



ミーティング・学習会の様子



ミーティング・学習会の様子

教育問題への取り組み

就学支援活動

被災した家庭では経済困窮のため子どもを一般の学習塾に通わせられない、仮設住宅が狭く勉強場所を確保できないなどの問題を抱えていることがあります。そこで、POSSE 仙台支部では、被災した子どもたちに勉強を教える、就学支援を行っています。

貧困問題への取り組み

生活相談活動

POSSE では生活困窮、奨学金の返済困難など生活上の課題を抱えた方からの相談を受ける生活相談活動に取り組んでいます。一件一件の相談にボランティアが対応し、制度活用を通じた問題解決をサポートします。生活相談に関わる法制度は学習会で学べます。

被災問題への取り組み

送迎バス事業

仮設住宅は立地が悪く、高齢者・障害者は通院・買物が困難であるため、送迎バスを運行しています。現在は、宮城野区の 6 つの仮設住宅で運行をしています。ボランティアは買い物の付き添いや、歩行介助として活躍しています。

労働法教育活動

POSSE で独自に作成した教材を使い、高校生や大学生に労働法の基礎知識や労働問題への対処法を教える出張授業を実施しています。働きはじめる前に労働法の知識を身につけ、労働問題を未然に防ぎ取り組みます。

支援者セミナー

1～2ヶ月に 1 回程度、貧困・生活困窮問題に取り組む NPO 活動家や弁護士をお招きし、セミナーを開催しています。貧困問題の実態を社会に発信・提起するとともに、生活困窮者支援に携わる支援者の養成を目的としています。

コミュニティ創出活動

仮設住宅でのコミュニティづくりのお手伝いをしています。住民が集える場をつくるために集会所の前に机・椅子を設置したり、集うきっかけをつくるためにイベントを開催したりしています。



仮設住宅で暮らす子どもへの就学支援



電話での労働相談対応の様子



送迎バス運行の様子

POSSE とは、労働相談、労働法教育、調査活動、政策研究・提言、文化企画を若者自身の手で行う NPO 法人です。現在、会員は約 250 人。10 代、20 代を中心に、約 100 人のメンバーで運営しています。年間およそ 400 件の労働相談に対応しています。事務所は東京の下北沢、京都、仙台に構えています。

電話 : 022-266-7630

Email: sendai@npoposse.jp

住所 : 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター 気付